

東京・多摩地区中小の「人財」育成

就職難好機に積極採用

大手企業が採用枠を絞った就職氷河期が、中小企業にとっては人材獲得の好機となっている。従業員が数人から数十人の企業も工業高校や理系大学の学生を採用できた。初めて新卒者を探る企業や従来の教育ノウハウをフル活用する企業など、次代のモノづくりをけん引する「人財」に育てようという奮闘している。東京・多摩地区の状況を追った。(西東京・小寺貴之)

精密旋削加工を手がける採用に踏み切った。金鈴精工(青梅市)は2人はそれぞれ物質科学青梅商工会議所が開いたと電気工学を専攻してお緊急就職説明会を活用し、将来は材料技術と設計理系大卒生を採用し、計開発の責任者に育て事た。社員10人と小規模な業拡大を狙っていく。

ため新卒2人の人件費負担は重い。それでも優秀工業高校生を採用したのな学生を迎え入れる絶好は精密試作業のディテク(八王子市)。小林大輔

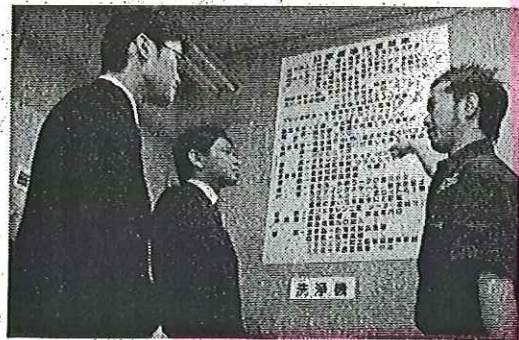
首都圏レポート☆ Report

工場長は「創業以来のE-1ス級が採れた」と喜ぶ。茨城県日立工業高校から冬休みを利用して来訪。熱意にほだされ切削

加工を教えたところ、その集中力に驚きその場で採用を決めた。

しかし鈴木金鈴精工専務が「思っていたほど仕事ができない」と言うように、仕事を任せられるようになるには時間がかかる。ディテックは即戦力化のため、社長と工場長が3カ月間にわたりつきつきりで機械加工をたたき込む。「教育スケジュールはタイト。かなりスパルタ的に教える」(小林工場長)。そうした中で芯の強さを再確認し、将来の右腕に育てると意気込む。

技術・経営力じっくり伝授



プリントの制御システムを手がけるソウ・シス(戸塚線社)は14カ月の研修メニューを設ける。社内認定テストに合格するまで仕事には触れない仕組みだ。プリントでは一つのミスが事故に直結するた「顧客に技量を証明できる能力への配分を増やし、成長像を明確にする。戸塚社長が「中小企業は実力主義。そのためには大手に負けない査定制度が必要」と説く。

金鈴精工は理系大卒生を2人採用し、研修を行う。戸塚社長が「一人に任せられる裁量が広く視野の広い技術者を生む」と話すように、技術を身に付けた後に営業や管理などに隣に座る社長の仕事を手伝わせることで、マネジメント力を身に付けられる。経営の視点を持った技術者は応用が利く貴重な人財となるはずだ。

「できない社員には仕事を任せられない」(戸塚線社)は14カ月の研修メニューを設ける。社内認定テストに合格するまで仕事には触れない仕組みだ。プリントでは一つのミスが事故に直結するた「顧客に技量を証明できる能力への配分を増やし、成長像を明確にする。戸塚社長が「中小企業は実力主義。そのためには大手に負けない査定制度が必要」と説く。

金鈴精工は理系大卒生を2人採用し、研修を行う。戸塚社長が「一人に任せられる裁量が広く視野の広い技術者を生む」と話すように、技術を身に付けた後に営業や管理などに隣に座る社長の仕事を手伝わせることで、マネジメント力を身に付けられる。経営の視点を持った技術者は応用が利く貴重な人財となるはずだ。

中小製品に認定制度

相模原市、販路開拓を支援

【厚木】相模原市は中小企業の販路開拓支援のため、「相模原市トライアル発注認定制度」を創設した。優れた技術や製品はあるが、販路を持たな

医薬品、医薬部外品、化粧品は対象外となる。市では今後、学識経験者や認定製品を決める。認定

は10月上旬。市は認定製品のカタログも作成する計画で、「広い分野の製品が集まるのでは」(産業・雇用政策課)と期待する。問い合わせは同課(042-769-8237)へ。

中小研究グループ募集

栃木県 新事業創造を補助

【宇都宮】栃木県は中小企業支援の一環として、産学官連携で新事業の創造などに取り組む中

つで2004年度にスタート。毎年8-10グループを選定している。問い合わせ・申し込みは産業振興センター総合支援部(028-670-2602)へ。

茨城—上海浦東空港

末

通省や防衛官などと今後開墾する。

食関連の研究 成果発表会開く

関が連携して研究開発に取り組んでおり、「動物